



- ・水という点に着目したい。
- ・観光客の方から“うらやましい”と言われる観光資源。
- ・時間のとまってまちという印象を受ける
- ・中心市街地は何もかもが全部揃う地域。自分が住んでみて非常に魅力的である。
- ・観光地として素材が多くある。国際文化観光都市を生かしきっていない。
- ・松江の歴史、文化、景観を言葉にすればそれがコンセプト。歴史というのはオンリーワンである。
- ・コンセプトとストーリーがあって、それに一致した地域であること。

#### 交通の問題（委員より意見）

- ・公共交通で中心部にでかける方法を具体的に考える必要がある。
- ・時間帯によっては交通渋滞がひどく何らかの規制が必要と思う。

#### 居住の問題（委員より意見）

- ・高層マンションによる景観阻害があり、規制が必要と思う。
- ・マンションによる人口増加がコミュニティの復活につながっていないように感じる。

#### 景観形成規制について（事務局より説明）

- ・市内で高さ制限を設けた地域（高度地区指定）は無い。規制を行う場合、権利者の同意を得る必要がある。
- ・塩見縄手地区については住民説明会を開催し、規制の同意が得られたので、景観地区に指定した。

#### 中心市街地エリアについて（意見交換）

- ・検討区域図について事務局より説明。
  - ～まちづくりを地元と市で検討している区域（城山北公園線整備関連）
  - ～地元で計画のある地域（宍道湖温泉駅北側）まちづくり会社計画（天神町ほか）
  - ～旧藩政時代に町部であったエリア
  - ～松江サティ（当初は基本計画区域であったが、途中から外れた）。この地域は準工業地域であり、このままだと規制がかかる。（準工業地域の取り扱いは、都市計画審議会で検討することとなっている。）
- ・まちなか居住という考えからすれば、北堀町、奥谷町、石橋町を入れてはどうか。
- ・田町あたりは微妙である。豎町はいれるべきだが、隣接する雑賀町もある。
- ・エリアの最終決定はまだ行わないが、暫定的に決めておく必要がある。
- ・今後の支援措置を考えれば、エリアはできるだけ広くしたほうがいい。
- ・サティを含めた東朝日町を区域に加える。

- ・エリアは計画と中身の関係で考えた方がいい。
- ・地元の計画が決まっている地域については、配慮することが必要。
- ・サティは車型の形態なので、“コンパクトシティ”“歩けるまち”と言っているなか、区域に入れるのなら、然るべき理由が必要と思う。
- ・サティは松江駅に近接しており、中心市街地と密接に絡んでいる。
- ・サティを起点に中心市街地へ出かけることが可能。
- ・以前、サティと天神町を無料のバスがまわっていて利用が多かった。復活の要望もある。
- ・今回の法改正の趣旨としては選択と集中があり、広げればいいというのではなく、集中させる議論が必要。エリアありきの議論をするのか、何をやるべきなのかということからエリアを設定するのか。

**\* 現行エリアよりは広く、基本的には江戸時代の旧町あたりも含める。**

**\* サティあたり（東朝日町）も含めてはどうか。**

#### 意見交換

- ・現状、商店街で“お客さんを待って”という商売は不可能であり、元気のある商店は外に支店等を持っているところが多いが、やはり、本店という顔はしっかり持っていかなければいけない。
- ・外へ出て販路を広げることが中心部にいるものの課題。
- ・観光客の方にまちを歩いていただくことを考えるべき。
- ・住民の声をボトムアップすることでコンセプトも見えてくると思う。エリアはともかく重点地区を設けて、そこから全体像が見えてくるように感じた。
- ・まちづくりというのは、法律が変わったからといってベクトルが変わるものではない。これまでのベクトルの中で、計画を作っていけると思う。

#### その他（スジュール等）

- ・ワーキングで型にして、第4回の対策協議会では、基本計画を作ってしまいたい。
- ・次回（第4回）対策協議会は、1月15日（月）か18日（木）開催で調整する。
- ・12月7日、商工会議所と中心市街地整備推進機構（観光開発公社）で中心市街地活性化協議会を立ち上げる。